

第2回ESDプレゼン学習会報告

2015年11月9日、本校体育館にて全コース1・2年生対象にESDプレゼン学習会を行いました。各コース第2学年の代表班がそれぞれのテーマ（経済、平和、インフラ）に沿って行った修学旅行の事前学習および、現地での調査・体験で得た問題点や改善点を、パワーポイントを用いて発表しました。最後に学習会の総評として、学校法人中部大学常勤理事である中島泉先生からご助言を頂きました。

①進学コース

農業から沖縄の経済を考え、沖縄のサトウキビ農家の現状を、現地での経験を通して発表しました。農家の高齢化や手間がかかる作業が原因で農業をやめてしまう方が多いことに対する解決策を提案しました。



②特進コース

沖縄の経済が主に観光を中心とした第3次産業に支えられていることに注目しました。そこで、外国人観光客が抱える問題点を指摘し、その解決策を考えました。事前学習(調査)では言葉の問題が指摘されましたが、実際は気候や交通の問題の方が大きいことが分かり、その対策を提案しました。



③啓明コース

今なお日本の大きな問題である少子高齢化における対策を、同じ問題を抱えるシンガポールと比較し、考えました。シンガポールは日本と比較し、育児休暇を取得し易く、育児のイメージも異なります。今後、日本がもっと発展するためには女性の社会進出が可能となる政策が必要であると結論付けました。



④国際コース

インドネシアが抱えるガスに関する問題を調べました。インドネシアではガスの輸出量が世界第4位であるにもかかわらず、インフラが整っていない為にプロパンガスを使用しなければなりません。プロパンガスの質や国民の知識不足が多く、事故を招いている現実があります。その対策として、都市ガスの使用が有効的だと考えました。



総評

中島泉先生からは、「高校生が自ら問題点を考え、その対策を見つけ出そうとする姿はすばらしい。これからの日本を背負っていく若い世代には、日本国内だけに留まらず、世界に目を向けて活躍してほしい。」というご助言を頂きました。

